

平戸市 × 平戸市森林組合

～ 木質バイオマス活用の実証実験 ～

市内事業所における 最先端の取り組み



特集 持続可能な社会の実現へ

6月は環境月間です。この特集では、さまざまな環境問題に対し、一人ひとりができる対策や市内事業者の取り組みについて紹介します。

☎ 市民課環境政策班 ☎ 22-9126



COOL CHOICE

at HIRADO

☑ 身近にできるエコチェック

日常で取り組んでいる対策がいくつ当てはまるかチェックしてみましょう。

電気

- 照明はこまめに消す
- めったに使わないものはコンセントを抜く
- エアコンは適切な温度に設定



水道

- 水を出しっぱなしにしない
- シャワーはこまめに止める
- お風呂のお湯は適量に



買い物

- てまえどり（賞味期限の近いものから）
- 使い捨てではなく長く使える商品
- マイボトル・マイバッグを持ち歩く



キッチンまわり

- 油污れなどをふき取ってから洗う
- 消費期限内に使い切る
- 繰り返し使える容器やラップを使う



ごみ捨て

- ごみの分別の徹底
- 生ごみは水気を切って捨てる
- 小さくしてごみ袋の使用量を減らす



環境保全活動

- ふんわりアクセル・エコドライブ
- 車間距離をとり加減速の少ない運転
- なるべく徒歩や公共交通機関で移動



可能性を秘める持続可能な森林資源

平戸市には、約6千8百ヘクタールの広葉樹林が広がっていますが、手つかずの状態です。

放置された森林は、林内に光が届かず荒れ果ててしまいうため、平戸市森林組合は、保全のために広葉樹の活用に取り組んでいます。

そこで平戸市も、平戸市森林組合と連携し、伐採した広葉樹を「木質バイオマ

ス」として活用する実証実験を開始しました。

伐採した広葉樹を「チップ」と呼ばれる機械で削り、ボイラーで燃焼させ熱エネルギーに変換します。

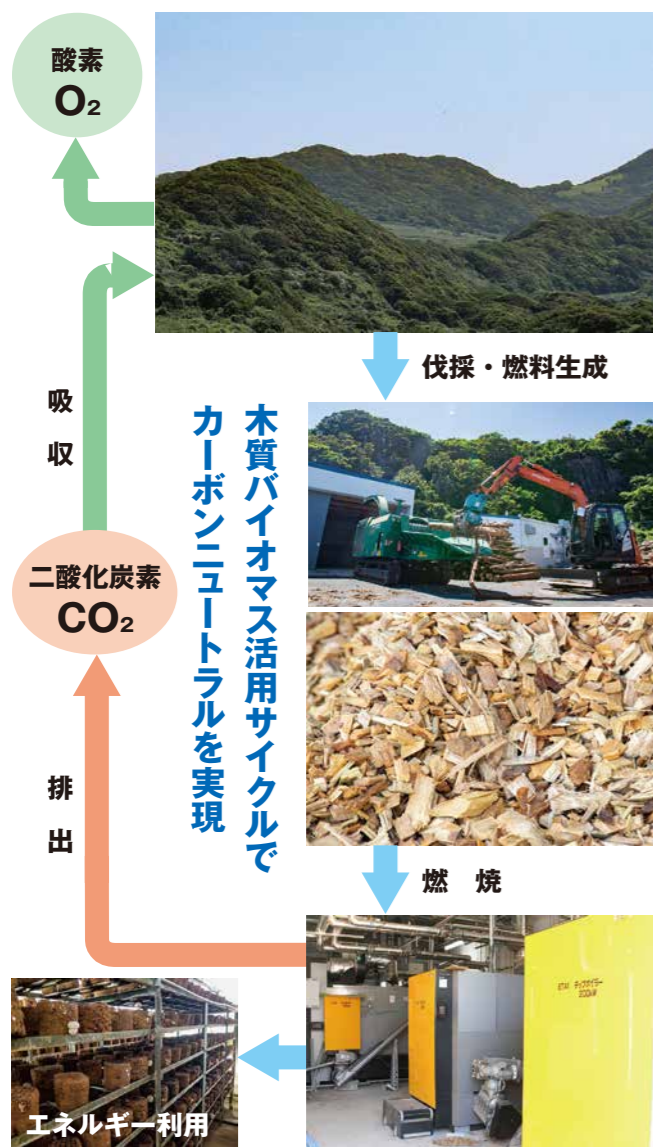
実験では、変換された熱エネルギーをしいたけ栽培ハウスの暖房に利用していますが、将来は、公共施設での活用も目指しています。

伐採した広葉樹が再び育

ち、利用が可能になるまで約30年。

目標としている燃料生産量を確保するために、30年で必要な森林面積は3千ヘクタールであり、市内にある広葉樹の資源量で十分まかなうことができます。

森林の保全とエネルギーの供給、そして再生した森林のCO₂吸収というサイクルで、森林の秘める持続性を活用し、カーボンニュートラルの実現を目指し取り組みます。



2030年度目標達成のための重点的な取り組み (地域脱炭素重点プロジェクト)

2050年までの「基本プロジェクト」に基づく施策の中から、特に2030(令和12)年度の温室効果ガス排出60%以上の削減に向けて、市民、事業者および行政が一体となった取り組みを選び、全体をけん引する「重点プロジェクト」を設定しました。

重点プロジェクト1

- 木質バイオマス熱および発電の普及・利用拡大
木質バイオマス熱利用、発電設備の設置を年次的、計画的に推進

重点プロジェクト3

- 再生可能エネルギーの地産地消の推進
森林材、廃食用油など新たなエネルギー源による地産地消

重点プロジェクト5

- 環境学習などの推進
関係部署と連携した出前講座やエコフェスタなど地球温暖化推進委員と連携し環境学習を開催

重点プロジェクト2

- 公共施設などへの太陽光発電の普及・利用拡大
景観などへ配慮し、地域との共生が図れるような太陽光発電を公共施設などに導入

重点プロジェクト4

- 行政の率先行動(省エネの推進など)
公用車の次世代化、グリーン購入の推進、職員の率先した行動の実践

重点プロジェクト6

- 廃食用油の回収体制構築の推進
一般家庭などから排出される廃食用油の回収体制の構築

第3回ひらどエコフェスタ出展事業者・団体公募

- とき 11月9日(土)午前10時～午後3時(予定)
- ところ 平戸文化センター
- 対象者 エコに関する取り組みを行っている事業者や団体
- 内容 活動の紹介や体験、バザー(リユース目的)など
- 申込期限 ～6月28日(金)まで
- 申込方法 右上の二次元コードを読み取り、平戸市ホームページ上の「申込フォーム」からお申し込みください。



▲平戸市ホームページ

うちエコ診断 登録不要、アクセスするだけ

あなたの光熱費、**年間6万円**※
損しているかも!?

※診断後アンケート結果の平均値

うちエコ診断WEBサービスでは、あなたのおうちの光熱費削減につながる効果的な取り組みがわかります。

サービス利用は無料!
ご利用はこちらから▶

～手軽に楽しく地球環境保全活動～

九州エコファミリー応援アプリ **エコふあみ**

- 協賛店・環境スポットで、ポイント付与や割引などの特典あり!
- 貯まったポイントで九州各県の特産品が当たる!

▲iPhone用

▲Android用

第2次平戸市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)改訂および重点プロジェクトを策定

平戸市では、国内外の動向やこれまでの取り組みなどを踏まえ、脱炭素社会「ゼロカーボンシティひらど」の実現に向けた2030(令和12)年度までの「第2次平戸市地球温暖化対策実行計画」を改訂し、削減目標達成のため、より重点的に取り組む施策を「平戸市地域脱炭素重点プロジェクト」として取りまとめました。

今後は、本計画のもと、目標の達成に向けて、市民および事業者の皆さんと連携・協力し、温暖化対策をさらに推進していきます。

～脱炭素社会の実現に向けた2050(令和32)年度の平戸市の姿～

「美しい海や緑豊かな山など自然環境が守られ、地球にやさしいまち」

温室効果ガス排出量の削減目標

○計画の基準年度

区分	年度
基準年度	2013(平成25)年度
目標年度	2030(令和12)年度

○対象とする温室効果ガス

- ▶二酸化炭素(CO₂)
- ▶メタン(CH₄)
- ▶一酸化二窒素(N₂O)



○温室効果ガス排出量の削減目標

2030(令和12)年度に温室効果ガス排出量60%以上減(2013(平成25)年度比)
2050(令和32)年度ゼロカーボンシティひらどの実現

2030(令和12)年度をターゲットとし、脱炭素や気候変動への適応に関して、今後進めていく施策を幅広い分野で取りまとめた「基本プロジェクト」を定めました。

基本プロジェクト1 地域特性を活用した再生可能エネルギーの導入・利用の促進

- 再生可能エネルギー導入の基盤づくり
- 太陽光エネルギー利用システムの普及促進
- 木質バイオマス資源の活用促進
- 再生可能エネルギーの地産地消の推進

基本プロジェクト3 多様な手法を用いた地球温暖化対策の推進

- 公共交通などの利用促進
- 森林などの保全・管理など
- 自動車利用時のCO₂排出量の低減
- 学習機会の提供

基本プロジェクト2 省エネルギー・省資源対策の推進

- 環境配慮型建築物の普及促進
- 省エネ診断の促進
- 壁面緑化や緑のカーテンの普及促進
- 省資源対策の推進(ごみの分別、再資源化)
- 高効率機器等省エネルギー設備の普及促進

基本プロジェクト4 気候変動への適応策の推進

- 自然環境や経済活動分野など分野別の適応策の推進
- 熱中症、感染症などの適応策の推進